



2月予定表

日	曜日	行事
1	月	理事会(18:30)笠岡GH2F
2	火	
3	水	第一例会(12:15)笠岡GH3F
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	建国記念日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	第二例会(18:30)(一日役員例会)笠岡GH3F
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	PR・IT情報委員会(14:00)事務局
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	理事会(3月度)(18:30)笠岡GH2F

誕生日 おめでとう



1月

- L.鳴本 哲矢 (S.26.1.2)
- L.高田 博式 (S.19.1.8)
- L.薮井 啓二 (S.8.1.12)
- L.東川 三郎 (S.21.1.13)
- L.天野 学 (S.21.1.15)
- L.岡崎 頼巳 (S.31.1.22)
- L.三谷 渡 (S.25.1.24)

長期在籍者表彰 40年 L早川信義



長期在籍者表彰 30年 L横山順二



発行者 笠岡東ライオンズクラブ
 会長 井波恒雄 幹事 水田和男
 編集 PR委員会・事務局
<http://www.kcv.ne.jp/~khlc/>
 E:mail khlc@kcv.ne.jp



花壇の土作り 1月24日(日)

笠岡東 LC スローガン 『感謝の心を奉仕にこめて』

地区ガバナー スローガン 『力を結集し未来を動かそう!』

国際会長テーマ 『いのちの尊厳と和』 国際会長 山田 實紘 (日本)

336-B 地区アクティビティ・スローガン 『地域とともに輝く未来』



井波会長挨拶

井波会長をはじめ、各理事・委員長が前期活動についての感謝を述べ、後期活動についての予定と抱負を語りました。



L 岡崎
「還暦を迎えて」



L 高田
「申年に過去起こった事」



L 鳴本
「ヨーロッパ旅行でのアクシデント」



L 東川
「婚活について」



L 三谷
「笠岡干拓について」



井波会長のご提案により会員親睦の目的として、ホーティカルチャー神島より講師の先生をお迎えしてワークショップを開催しました。会員皆様が初めての経験で、楽しくアレンジメントをされました。ありがとうございました。



笠岡東ライオンズクラブ様には、感謝の心を込めて社会への奉仕活動を展開しておられ、心から敬意を表するものであります。また、福祉事業に対しても深い造詣を示され、クラブの活動の一環として、毎年クリスマスには子ども療育センター笠岡学園へ通っている子ども達にお菓子のプレゼントを贈っていただいております。昨年、12月16日にサンタクロースに扮して来園され、子ども達はサンタから大きなプレゼントをもらい大喜びで、一緒に歌を歌ったり質問をしたりと、普段味わえない楽しい時間を過ごすことができました。頑張っている子ども達にプレゼントとともに夢と希望を届けてくださり、

心からお礼申し上げます。

さて、笠岡学園は障がい者に対する福祉に十分な目が行き届いているとは言えなかった昭和34年に、当時の笠岡市長（小野博市長）が、知的障害のある子どもを育てておられた保護者の強い願いに心を打たれ、岡山県内で最初の児童通園施設“笠岡学園”として創設されました。このため、正式な名称は、社会福祉法人 笠岡市社会福祉事業会であります。

笠岡学園では、子ども達が住み慣れた地域で健やかに成長し将来自立した生活ができるように、今日まで井笠地域における障害児のための専門的施設として運営して参りました。特に近年、発達が気になる子ども達が増え、その理解とケアが重要な課題となっており、笠岡学園に対する期待は一層高まっております。

以後、新川保育所を開設し、障害児だけでなく共働き世帯の子育ても支えてきました。さらに、時代の福祉ニーズに応じて、障害者が働く場として通所の授産施設（現：多機能型事業所かさおか）を、そして家庭で自立した生活や介護を受けることが困難な障害者が社会復帰を目指すための入所更生施設（現：障害者支援施設）を、その他にも相談事業と居宅介護事業、グループホーム事業所からなる地域生活支援センターなど順次事業を拡大し、地域及び関係者の皆様のご理解とご支援により、幼児から終身まで支援する社会福祉法人として、現在では法人全体で約400名の方々に利用していただいております。職員を含めると500人を超える法人として事業展開しております。

ところで、障害者を取り巻く福祉制度は、ここ10年程の間に障害のある人も地域で安心して暮らせる社会の実現を目指して目まぐるしく制度改革が繰り返され、大きく流れを変えてきました。

また、笠岡学園利用者の高齢化の進行とともに障害程度の重度化が進んでおり、その対策が避けて通れない切実な課題となってきており、高齢者を支援するための新たな福祉施設の建設事業にも着手したところであります。

笠岡学園は、創立50有余年の歴史を数えますが、いかに制度が変わろうとも、障害者一人ひとりの人権を尊重し、利用者の思い、家族の思い、社会資源としての役割、地域の期待等々多くの方々の思いを真剣に受け止め、住み慣れた地域で心豊かに幸せな生活が送れるよう支援することが、笠岡学園に課せられた使命であると信じております。

今後も、地域の福祉ニーズに応じて地域福祉の向上に努めて参ります。引き続き温かいご指導ご支援をお願い申し上げます。